

令和7年3月10日

## 令和6年度 世田谷区立東深沢小学校 学校自己評価報告書

### I 学校の概要

◇校 長 奥長 英樹

◇学級数 通常学級 25学級

◇児童数 827名（令和6年3月10日現在）

◇みしまの森学舎（東深沢小学校 等々力小学校 東深沢中学校 三島幼稚園 麻生深沢幼稚園  
めぐみ保育園 せたがやこころ保育園 いずみ保育園 ふかさわミル保育園 ChaCha Children  
Todoroki）

◇ホームページアドレス <http://school.setagaya.ed.jp/hisa/>

### II 「学校自己評価」について

肯定的評価（とても思う・思う）の数値が90%以上の項目・内容について、概ね達成できたものと判断した。今後も継続して推進するとともに、建設的に工夫・改善を加えて取り組んでいく。

また、肯定的評価（とても思う・思う）の評定が60%未満の項目・内容については課題として捉え、その中で特に今後の改善が必要な事項について改善策を検討した。

### III 評価結果の考察

#### 1 児童アンケートについての考察

○「学校が楽しい」と回答した児童が93%となり、学校生活に満足している様子が伺える。また、「学校行事は、達成感がある」が昨年度を上回り、様々な学校行事が行えるようになったことが児童の達成感につながった。

○学び舎の中学校に関する情報提供や中学生との交流についての肯定的評価が前年比－16ポイントとなった。中学校生徒会活動やあいさつ運動に加えて、今年度は3学期に6年生の中学校への授業参観が再開できたが、まだ児童の実感に至っていないことが分かった。学び舎の情報提供を積極的に行うとともに、工夫しながら直接交流の機会をさらに増やしていきたい。

●「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある」と回答した児童は前年比＋12ポイントの69%となった。ただし、無回答が13%あることから、児童の中でキャリア教育の意識付けが十分できていないことが分かった。学校全体としてキャリア・未来デザイン教育の一層の充実を図っていく必要がある。キャリアパスポートを活用し、自分の成長を振り返ることも大切にしていきたい。

## 2 保護者アンケートについての考察

○全体として肯定的評価を得ている。回答率は94.3%となり、保護者の方が学校の教育活動にご理解をいただいていることが数値から明らかになった。引き続き連携しながら取り組んでいきたい。

○地域との連携について、全ての項目が昨年度を上回った。総合的な学習の時間を中心にゲストティーチャーとして授業に参加していただいたり、地域の商店街や福祉施設で学習活動を実施したりすることができたことが要因と考えられる。次年度も、活動の工夫しながら学校や児童が地域とつながる機会を増やしていきたい。

●学習指導に関する4項目全ての肯定的評価が昨年度をわずかに下回った。児童の肯定的評は増えていることから、保護者への情報提供をさらにしていくことが必要と考えられる。児童が自ら課題を発見し解決していくよりよい学びを目指して、引き続き、授業改善に取り組んでいく。

●家庭と学校の連携について、「私は 学校行事、PTA や地域行事などにすすんで協力している」が14ポイントとなった。保護者が直接児童の様子を見ることができる機会が限られた中で、学校と家庭が同じ方向を向いて児童を育成していけるよう、引き続き連携を図っていく。

## 3 地域アンケートについての考察

○「私は、東深沢小学校の教育活動等に、協力していきたい」の肯定的評価は100%と非常に高く、地域の方が温かく学校を見守ってくださっていることが伝わってきた。

○学校の安全性について、全項目で肯定的評価は100%と非常に高く、学校の取組を地域の方にご理解いただいていることが明確になった。町会との避難所運営に関する情報共有など、引き続き連携を深めていく。

○学校行事について、全項目で昨年度を上回り、肯定的評価が96%となった。地域の方に参観していただく機会が増え、児童の姿を間近に見ていただけたことが成果につながったと言える。引き続き、地域の方にも参加していただける機会を増やしていく。

●あいさつについて、地域の肯定的評価が2ポイント昨年度を下回った。高学年のあいさつ委員会が地域のあいさつ運動に参加するようになるなど、今年度新たな取り組みも実践できたが、全校児童としては今後もあいさつに対する意識を高めていく必要があると考えられる。

●学校からの情報提供について、学び舎や学校運営委員会などの活動の周知が十分でなかった。お便りやホームページを通して、さらに情報発信していく必要がある。